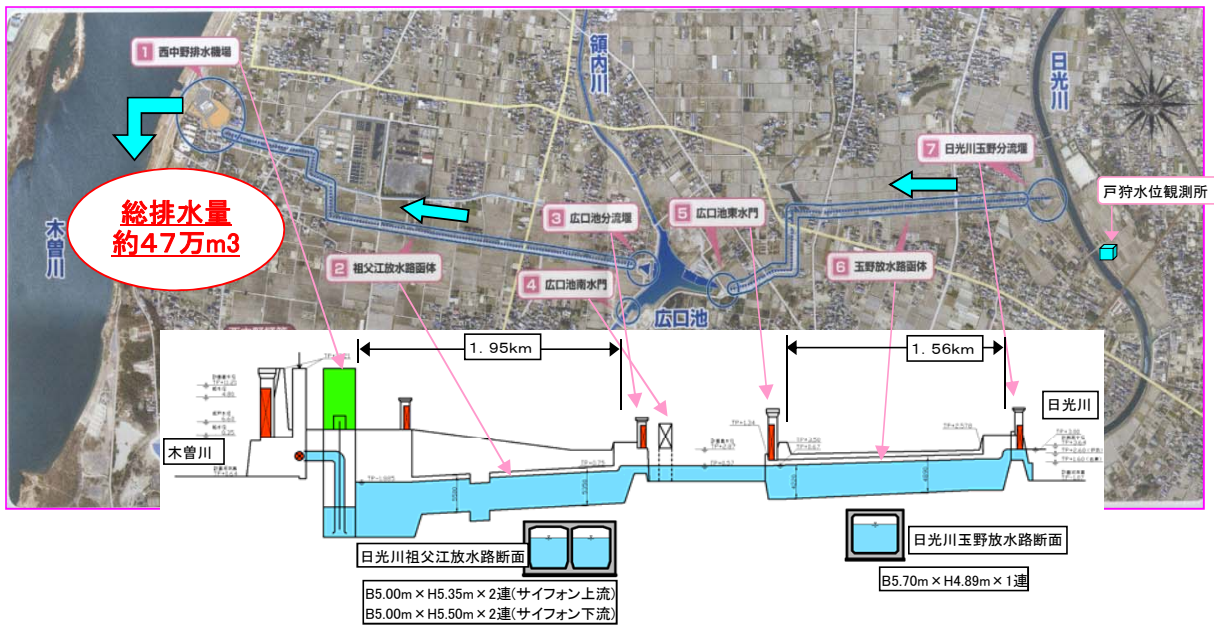


大雨で日光川放水路稼働 ～25mプール約836杯分の洪水カット～

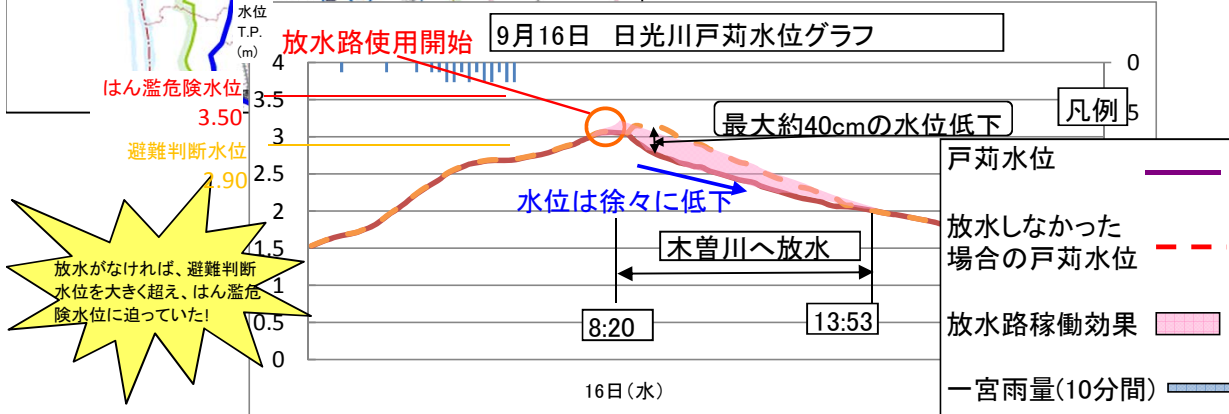
平成25年9月15日夜から16日午前にかけて、東海地方は広い範囲で強い降雨があり、愛知県一宮市では累加雨量134mmを観測しました。

この雨で河川が増水したことから、日光川放水路により日光川及び領内川の洪水カットを行うことで、下流の浸水被害を軽減しました。日光川及び領内川から分流された水は日光川放水路を流下し、西中野排水機場で木曾川へポンプ排水されます。

西中野排水機場では、16日8時20分にポンプ運転を開始し、13時53分に停止するまでの間、約47万m³の排水を行いました。



- 戸刈地点の洪水カット量
日光川流量の約28%を洪水カット
- 総排水量
469,972m³・・・25mプール約836杯分！
※小学校のプール(幅15m深さ1.5m)として計算しています
- 西中野排水機場ポンプ排水時間
(16日)8時20分～13時53分



避難判断水位・・・洪水により相当な被害が発生するおそれのある河川(水位情報周知河川)を指定して、市町村長が発令する避難勧告等の目安となる水位「避難判断水位(特別警戒水位)」を設定しています。避難判断水位(特別警戒水位)を超えた場合は、市町村に知らせ避難情報を出しやすくしたり、報道機関を通じて公表し、住民が自主避難しやすくすることで、被害の軽減を目指しています。